



南日本新聞

ペッパーが食育教室

人型ロボット「ペッパー」を使った食育教室が「和食の日」の11月24日、鹿児島市の西伊敷小学校（西伊敷4丁目）であった。写真。5年生57人が、基本となるだしの取り方を学び、和食文化への理解を深めた。

先生役を務めたペッパーの話（教材）は、教諭とソフトバンクが共同で作り、九州農政局が監修した。児童は「おにぎりは和食でしようか」をはじめ、ペッパーからの出題に次々回答。だし入りとだし無しのみそ汁も飲み比べ、香りや味を



確かめた。福島遙真君は「ペッパーの説明は分かりやすく楽しかった。和食文化を大事にしていきたい」と話した。

